

令和8年度 筑波大学オープンキャンパス 医学類Q&A

1. 入学試験について

Q1	推薦入試の内容について教えてください。また、地域枠で入学した場合、卒業後の勤務先の病院はどこになるのでしょうか、どのような地域の病院なのでしょうか。よろしくお願いします。	A1	推薦入試では、小論文（1）、小論文（2）、適性試験（1）、（2）を実施します。地域枠で入学した学生についての卒業後の勤務先は知事が指定する茨城県内の病院で、修学資金貸与条件等詳しくは茨城県ホームページをご覧ください。
Q2	医学部推薦入試について。現役生は入試に対して何をどのように準備していくと良いでしょうか。	A2	英語、数学、理科2科目（高等学校学習指導要領の範囲）の筆記試験と適性試験（記述、面接）を行います。適性試験については準備の必要はありません。
Q3	面接試験、小論文試験の扱い(どのように活用し、どの程度重視するか)を公表できる範囲で説明していただくと幸いです。	A3	配点については非公開事項です。
Q4	推薦入学試験と一般入学試験の併用は出来るか。	A4	出来ます。
Q5	推薦入試では主にどのような力を重点的に見るか。	A5	英語、数学、理科2科目（高等学校学習指導要領の範囲）の学力と医学に対する適性を評価します。
Q6	推薦入試と前後期選抜との試験問題の違い。推薦入試ではどのような学力を求めているのか。推薦入試の過去の結果について（合格点など）の資料が欲しい。	A6	一般入試では大学入学共通テストを受験する必要があります。詳しくは募集要項を参照してください。なお、入試の実施結果については、大学入試情報サイトをご覧ください。（ https://ac.tsukuba.ac.jp/ ）
Q7	推薦入試に落ちた後の、一般入試の可否判断。	A7	推薦入試に不合格であっても一般入試の可否には何ら影響はありません。
Q8	推薦入試はどのくらいの難易度の問題が出るのか。	A8	英語、数学、理科2科目において高等学校学習指導要領の範囲内の学力について試験します。
Q9	地域枠推薦について教えてください。	A9	令和9年度の地域枠入試については、国との協議によって定員が確定します。確定次第本学ホームページでお知らせします。
Q10	適性試験について、内容や対策方法等、なるべく詳しく伺いたいです。	A10	適性試験（1）は60分の記述式、適性試験（2）は面接です。いずれも対策の必要はありません。
Q11	共通テスト得点率や併願校について。	A11	受験者の平均得点率や併願校については公開していません。
Q12	1年生の時から特定の学類で学びますか。それとも、1年生の時に何を学ぶか考え、2年生になってから特定の学類で学び始めるのですか。	A12	総合選抜で入学した学生は2年時からそれぞれの学類に進みますが、それ以外の入試では1年次から各学類の教育プログラムが始まります。
Q13	学校成績や内申は考慮されるかを知りたいです。	A13	試験及び調査書等を含めて総合的に判定します。
Q14	内申書は加味されますか。	A14	
Q15	IB入試についての情報を知りたい。	A15	募集要項を参照し、不明な点は大学説明会で個別に相談してください。各種募集要項は大学入試情報サイト（ https://ac.tsukuba.ac.jp/ ）で公表します。
Q16	試験当日に公共交通機関などでのトラブル回避に、アドバイスがありましたら御指導下さい。	A16	近隣に宿泊することをお勧めします。
Q17	千葉県民ですが、卒業後茨城県で働く場合、地元枠で受験できますか。	A17	地域枠の受験資格については茨城県ホームページを参照してください。
Q18	足切りラインやプラスになる資格について。	A18	前期日程では大学入学共通テストの成績により募集定員の2.5倍で2段階選抜（足切り）します。
Q19	入学試験時の交通手段は、臨時バスなどの対応がありますか。	A19	つくばセンターより臨時にバスを増発します。
Q20	配点のウェイトについて。	A20	前期日程については募集要項を参照してください。推薦入試の配点は非公開です。
Q21	入学定員が少ないため、既卒者の入学は厳しいのか。面接に関して準備すること。	A21	現役、浪人年数による差別はありません。面接に関して、準備することは特にありません。
Q22	英検などの資格は入学試験時に必要ですか。	A22	受験資格ではありません。詳細は、各種募集要項を参照願います。
Q23	医学部の面接は、具体的に何を課されるのでしょうか	A23	内容については非公開です。

令和8年度 筑波大学オープンキャンパス 医学類Q&A

Q24	医学部入試での小論文テーマはどんなものですか？	A24	内容については非公開です。
Q25	入試形態について教えてください	A25	入学者選抜要項や各募集要項でご確認ください。
Q26	適性試験ではどのようなことを問われるのか教えてください	A26	記述式試験と面接試験を行います。適性試験については準備の必要はありません。
Q27	地域枠の倍率は毎年どのくらいですか？	A27	大学入試情報サイトの「入学試験実施結果」をご確認ください。 (https://ac.tsukuba.ac.jp/)
Q28	再受験生の入学は、現役生や浪人生に比べて厳しいなどということはありますか？	A28	ありません。
Q29	試験の点数が合格点数を上回っていても面接や調査書の内容のみで不合格となることはあるのでしょうか。	A29	各試験の評価基準については、入学者選抜要項をご確認ください。
Q30	研究型人材入試について詳しく知りたいです。今までの合格者の中で、高校時代どのような研究や賞などをもってこられたのか、差し支えなければ教えてください。また、共通テストは目安として、どのくらい取れば合格することができるのでしょうか？	A30	研究型人材入試の出願資格については、研究型人材入試学生募集要項をご確認ください。なお、高校時代の研究内容や合格点については非公開です。
Q31	地域枠の複数出願はできますか？	A31	前期日程において「一般枠」「地域枠全国対象」「地域枠茨城県内対象」の3区分で選抜します。「一般枠」と「地域枠全国対象」、「地域枠全国対象」と「地域枠茨城県内対象」の併願が可能です。 詳しくは、10月下旬に公表予定の個学力検査等学生募集要項をご確認ください。 (https://ac.tsukuba.ac.jp/)
Q32	高校で物理を選択していても受験可能でしょうか。	A32	受験可能です。
Q33	カナダへ留学しており、ブリティッシュコロンビア州の公立高校を2027年6月に卒業予定です。12グレードでAPを取る予定ですが、IBはとっていません。帰国生の入試について詳しく知りたいです。卒業後何年まで受験できるか、一般は可能かも教えてください。	A33	筑波大学入試情報サイトよりご確認ください。

2. 教育内容について

Q1	他の大学と違うところはありますか。	A1	医学英語や地域医療実習に力を入れています。
Q2	医学教育においての特色を教えてください。	A2	開学以来、統合型カリキュラムを取り入れており、海外実習は全国に先駆けて導入しました。その他、様々な新しい教育に取り組んでいます。
Q3	チュートリアルでの学習について。	A3	シナリオから学生は学習項目を抽出し、自ら主体的に学ぶアクティブラーニングを特徴としています。
Q4	法医学は学べるか。	A4	学べます。
Q5	教養を学ぶ期間。	A5	主に1年次に他の教育組織の授業を履修することで幅広い教養を身につけます。
Q6	外国語の選択科目。	A6	英語以外は選択です。
Q7	英語の重要性について。	A7	本学では英語の活用能力の獲得をめざし、専門英語の習得に特に力を入れています。
Q8	小児科について学べますか。	A8	学べます。
Q9	医師国家試験の合格率。	A9	例年、概ね95%以上です。詳しくは厚労省のホームページを参照してください。
Q10	国試に向けてのサポートはあるのか。	A10	国試形式の総合試験を6年次を実施しています。

令和8年度 筑波大学オープンキャンパス 医学類Q&A

Q11	臨床医のコミュニケーション能力に関する教育方針についてお聞きしたいです。	A11	日本語・英語を含め、医師-患者面接などのコミュニケーション能力を涵養する授業があります。
Q12	基礎医学、臨床医学、臨床実習にかかる期間をお聞きしたいです。臨床実習については、貴校の附属病院の他に、例えば関連病院などでの実習も行うのか、海外で臨床実習を行った場合も単位に含まれるのかも、お聞きしたいです。	A12	筑波大学附属病院のみならず、地域の基幹病院や診療所等での実習があります。海外実習は6年次に2週間～最長3か月選択でき、単位認定されます。
Q13	口コミで筑波大学は実習が他大学の医学部よりも多いと伺いました。具体的に、実習を多く取り入れたその目的と、それによる生徒さんの変容をお聞かせください。	A13	本学では社会に役立つ良医を養成することを一つの大きな目標に掲げており、臨床実習期間は全国で最長（78週）です。
Q14	実習期間の長さと、その内容。	A14	78週です。附属病院を含む病院実習、社会医学実習、地域医療実習、海外臨床実習（選択）などがあります。
Q15	臨床実施や研究内容について。	A15	医学類ホームページを参照してください。 https://igaku.md.tsukuba.ac.jp/
Q16	主な研究室の詳細が知りたいです。	A16	医学医療系ホームページを参照してください。 http://www.md.tsukuba.ac.jp/
Q17	研究者育成は、具体的にどのようなことを行なっているのか。	A17	1年次より始まる研究室演習、5年生の研究室実習などの授業を履修することができます。
Q18	学生も研究に参加できる機会があるのか。	A18	1年次より研究室演習を通じ、様々な先端研究を学ぶ機会があります。
Q19	在学中の海外留学は推奨していますか。	A19	推奨しています。
Q20	海外医療機関への短期留学システムなどがありますか。	A20	6年次に2週間～3か月、海外の病院で実習することができます（選抜試験あり）。
Q21	国際交流や海外派遣プログラムなどはどのようなものがありますか。	A21	1年次より様々な海外研修の機会が用意されています。
Q22	進路について、臨床系と研究系の割合などを教えていただきたいです。	A22	90％は臨床医学に進み、5％が社会医学、5％が医学の基礎研究者になります。
Q23	参加型実習は、救命救急センターなどにも参加できますか？	A23	4年次に各病院の救急科や消防署で実習を行います。また、6年次の自由選択実習では、自分が行きたい病院・診療科で実習ができますので、そこで救急救命センターを選択することもできます。
Q24	海外選択実習はどれくらいお金がかかりますか？	A24	実習先によって異なります。海外選択実習にかかる費用（宿泊費等含む）はすべて自己負担です。一部大学で実施している奨学金が適用になる場合もあります。
Q25	医学群医学類のカリキュラムを受けながら、公認心理士になるための単位を取ることは可能でしょうか？	A25	他学類の授業を受けることは可能ですが、時間割上、医学類のカリキュラムがつまっているため、資格取得のための単位をすべて修得することは難しいと思います。
Q26	研究者養成コースでなくても研究はできるのか。研究コースでないとできないことは何か？	A26	研究者養成コースに選出されると、6年次に月額5万円の奨学金が1年間支給されます。研究者養成コースでないとできないことはなく、学類生のうちから研究をすることが可能です。
Q27	テストは年に何回ありますか？	A27	学年によって異なります。医学類のWeb時間割（ https://www.md.tsukuba.ac.jp/mdtt/ ）上で「試験」となっている箇所が専門科目の試験日になります。その他、教養科目の試験等が別途実施されます。
Q28	筑波大学では他専門学群の専門導入科目を受けることができるということですが、医学類生は実際のどのくらい受講できるのでしょうか？	A28	1年次に教養科目として7単位の修得が必須となります。もちろん自分の興味のある他学類科目について必修単位以上に履修してる学生もいます。
Q29	新医学専攻を選択した場合は、臨床実習との両立はどのようにになりますか？	A29	新医学専攻の学生は、4年次10月～5年次12月まで臨床実習を行い、5年次1月から、研究を中心とした活動を行います。

令和8年度 筑波大学オープンキャンパス 医学類Q&A

Q30	PBL、講義、実習の割合はどのようになりますか？	A30	各科目によって異なります。詳しくは、医学類のシラバス（ https://igaku.md.tsukuba.ac.jp/syllabus ）を参考にしてください。
Q31	自分は将来地域に根ざした診療所を開きたい、筑波大学の地域医療実習について具体的な内容を教えていただきたい	A31	5年次から6年次にかけて、クリニカルクラークシップ（CC）Phase II の期間に設置されている医療概論Ⅴでは、診療所・小病院実習を通して地域医療（プライマリ・ケア）を学びます。地域医療の第一線で、外来診療、在宅医療（看取りを含む）、無医地区の巡回診療、ヘルスプロモーション、地域診断、地域包括ケア、多職種連携、健康の社会的決定要因など、地域医療についてさまざまな視点から学ぶプログラムです。大学病院での実習を中心とした総合診療科CCと連続した4週間の実習とすることで、大学病院、市中病院、診療所といった様々な「場」による医療の違いを知り、地域におけるヘルスケアシステム全体を見渡して、住民・患者・家族の生活および健康問題を把握し、医療者の果たすべき役割を理解することを目的としています。（ https://igaku.md.tsukuba.ac.jp/kyoiku-culc/kyoiku-culc006/kyoiku-culc006_010 ）
Q32	海外留学制度についてどのようなものがあるのか、そして医学類の学生の海外留学の経験について知りたいです。	A32	語学留学等の大学として提供されている研修や、医学類の授業として海外研修をするもの等様々な研究機会が準備されており、個人で行っているものも含め、多くの学生が海外留学を経験されています。
Q33	スポーツ医学に興味があるのですが、貴学ではスポーツ医学の研究はどの程度行われていますか？	Q33	筑波大学大学院スポーツ医学学位プログラムを設けており、競技スポーツにおいて、科学的な見地から競技者の競技力向上に貢献できる人材、生活習慣病や老化の予防を科学的見地から評価し、健康の維持・増進や疾病の予防・改善に貢献できる人材の育成を目指しています。（ https://sportsmed.taiiku.tsukuba.ac.jp ）
Q34	医学部と他学部が協力して研究することはありますか。また、カリキュラムでは他学部の授業をとれるようになっていたと思うのですが、実際にとってる人はどれくらいいますか。	A34	他学群他学類に研究室に参加することも可能です。また、医学類では、他学群他学類開設科目（6単位分）の修得が卒業要件となっています。
Q35	他学群の授業の履修について質問です。医学群医学類では、他の学群の授業をどのくらい履修できるかが知りたいです。現在貴校貴学類に通われている1, 2年生の生徒さんが、週何コマほど他学群の授業を履修しているのかや、年間で最大何単位ほど他学群の授業を履修できるのかご教示いただければ幸いです。	A35	他学群他学類開設科目の履修状況は学生それぞれで異なりますが、医学類では、他学群他学類開設科目（6単位分）の修得が卒業要件となっており、ほとんどの学生が1年生のうちに卒業要件分の単位を修得しています。
Q36	スポーツドクターを目指しています。医学類の学生がスポーツ医学やアスリート支援に関われる機会はありますか？スポーツ科学系の学生や研究室と交流する機会はありますか？救急や整形外科を見学する機会はありますか？	A36	医学類でスポーツドクターに関する授業・実習はありません。また、カリキュラムとして体育系の学生等と関わることはありませんが、医学類の学生が体育系やスポーツ医学関連の研究室で自主的に活動することは可能です。救急集中治療科や整形外科は4年生からの臨床実習で実際に実習に参加します。

3. 学生生活について

Q1	千葉県に住んでいます。電車で通える距離ですが、通学に時間をかけるより宿舎や寮に入って勉強にじっくり取り組み、部活などにも参加して学生生活を充実させたいと思っています。学生宿舎などには千葉県に住んでいても入ることが出来ますか。	A1	通学に1.5時間以上かかる場合はつくば市に住まわれることを推奨します。宿舎へは、大学から遠方の方を優先して入居を許可していますので、入居希望者が予定している入居枠数を超えた場合は、つくばエクスプレス及び常磐線沿線の一部地域の方は入居許可が保留となる場合があります。
Q2	東京出身者も寮または一人暮らしをされていますか。	A2	しています。

令和8年度 筑波大学オープンキャンパス 医学類Q&A

Q3	家から通っている学生さんの居住範囲。	A3	自宅通学及び通学距離に関する調査は実施しておりませんが、通学時間について以下の調査結果が出ています。（調査対象：全学類） ・2時間以上かけて通学している学生：約1.5% ・1時間半～2時間未満の学生：約4.7% ・1時間～1時間半未満の学生：約4.3% ※約10%の学生が、1時間以上かけて通学しています。 また、現在の居住地に関する調査結果は以下のとおりです。（調査対象：全学類） 現在の住まい：自宅 約16.5% 現在の居住地：つくば市内 約78%、茨城県内（つくば市を除く） 約7%、 東京 約2.6%、千葉 約4.2%、埼玉 約2.7%、その他（茨城県外） 約0.5% ※約10%の学生が、茨城県外から通学しています。 （平成29年度学生生活実態調査より）
Q4	1-2年次、1.5時間や2時間など、現実的に自宅通勤が可能な時間について。	A4	医学類の場合、通学時間が1.5時間以内でしたら通学可能です。ただし、4年生の秋学期より臨床実習が始まりますので、その後はつくば市に住まわれることを推奨します。
Q5	部活やサークルとの両立についてお聞きしたいです。	A5	サークル活動とアルバイトの日程を調整し、両立することは可能です。実際、両立している学生も多数います。もちろん、本分である学業に支障をきたさないようにすることが大前提です。
Q6	筑波大学は敷地が広く、医学部での実習棟から一般教養棟までの距離が大変長いと聞きました。具体的に、筑波大学医学部の生徒さん達はどのように移動されているのですか。	A6	自転車もしくは自家用車がほとんどです。
Q7	クラスはどのようにになっているのか。	A7	ークラス約23人で担任がつきます。
Q8	学生の国際比率は60－70名中どのくらいですか。	A8	医学類生の留学生比率は1%以下です。
Q9	学生宿舎への申込のタイミング、方法について教えてください。また、いくつか棟があるようですがこれらは選べますか？見学はできますか？グローバルビレッジについても同様でしょうか？	A9	学生宿舎の申し込みは、合格発表後、郵送で届く入学手続き書類の中に案内がありますのでそちらからお申し込みください。宿舎の申し込みについては、「一般的な宿舎」か「グローバルヴィレッジ」の2つの選択肢から第一希望、第二希望を選択いただくこととなりますが、地区や棟を指定することはできません。また、宿舎を見学することはできません。
Q10	医学群の方で医学類のサークル以外の体育会系のサークルに所属している方はいらっしゃいますか？医学類の方はやはり医学類生用のサークルに入られるのでしょうか？	A10	医学類の学生でも、多くの学生が全学の課外活動団体に所属しています。
Q11	TSAでの学生トレーナーの活動に興味があるのですが、TSAと医学系運動部の兼部は可能でしょうか。	A11	可能です。

4. 進路・就職について

Q1	進路実績を教えてください。	A1	90%は臨床医学に進み、5%が社会医学、5%が医学の基礎研究者になります。
Q2	県内、県外などの就職先について。	A2	卒業生の約6割が茨城県内に就職します（そのうち、附属病院に就職するのは約4割）。
Q3	医師になりたいという人がたくさんいるかと思いますが、どれくらいの確率で医師になれるのでしょうか。	A3	過去5年間における現役生の医師国家試験合格率は約97.5%で、卒業後の合格者を含めるとほぼ全員が医師資格を取得しています。
Q4	スポーツ医学に強い大学と聞いたんですが、スポーツドクターになりやすいなりにくいはいありますか。	A4	医学類ではスポーツ医学の授業・実習はありませんが、他学類で開設している授業について受講することが可能です。
Q5	附属病院にみんな就職するのか、希望して他の病院に行くのか、附属病院に入れない学生もいるのかが知りたいです。	A5	卒業生の約6割が茨城県内に就職します（そのうち、附属病院に就職するのは約4割）。研修を希望して附属病院に残れない研修医はほぼいません。

令和8年度 筑波大学オープンキャンパス 医学類Q&A

Q6	臨床と研究の両立はあるのか。	A6	大学の教員は皆両立しています。
Q7	医師国家試験の対策をどの程度してくれるか。	A7	医師国家試験対策を目的としたカリキュラムは特に設けていませんが、国試形式の総合試験を6年次に実施しています。試験対策や模擬試験は学生が自主的に行っています。
Q8	今は法医学者になりたいと思っています。でももし、大学で学ぶうちに違うことをやりたくなった場合、進路を変えることは出来ますか。	A8	進路変更はいつでも可能です。
Q9	卒業生は、筑波大学医学部附属病院への就職は、希望すればできるのでしょうか。	A9	卒業生の約6割が茨城県内に就職します（そのうち、附属病院に就職するのは約4割）。研修を希望して附属病院に残れない研修医はほぼいません。
Q10	地域枠での受験を考えております。この枠内で入学された方で海外へ留学される方はいらっしゃいますか。もしくは留学は可能でしょうか。	A10	海外留学による返済期間の猶予が許可されるか否かは地域枠等委員会でご個別に検討しています。
Q11	大学院に進む人の割合はどれくらいですか。男女別でも教えていただきたいです。	A11	6年次の卒業生から大学院へ進学する学生は、1、2名で、年度により男女比も異なります。なお、卒後初期研修を経て、大学院に進学する方は多くいます。
Q12	社会医学医師になる方は卒業生の中で何%位いらっしゃいますか？	A12	社会医学医師に従事する卒業生の割合は、正確にはわかりませんが、わが国全体で見ますと、現役医師のうち、社会医学医師（※）の割合は1.2%です。ただし、社会医学医師のキャリアは多様で、病院や大学・研究機関に所属しながら活躍する方もいますので、実際はもっと多いかもしれません。詳しくは、社会医学系専門医制度ウェブサイトをご参考ください。（ http://shakai-senmon-i.umin.jp/info/ ） （※）R2年医師・歯科医師・薬剤師統計（厚生労働省）より、行政機関・産業医・保健衛生業務の従事者
Q13	私は、将来総合診療医として働きたいと思っているのですが、貴学の地域枠の提携病院の中で、総合診療を研修することができる病院はあるのでしょうか。	A13	筑波大学附属病院をはじめ、茨城県立中央病院やつくばセントラル病院等で総合診療科を開設しています。
Q14	筑波大学付属病院では、フライトドクターになれますか？	A14	フライトドクターになるための個別のカリキュラムはありません。
Q15	医学部生の中でスポーツドクターになる割合を教えてください！	A15	スポーツドクターは、卒後初期研修を経て、必要な講習を受講することで認定されるものであるため、学部生が卒業すぐになれるものではありません。なお、筑波大学附属病院のスポーツドクターについては、以下をご参考ください。（ https://tsukuba-seikei.jp/kenshu/doctor/ ）
Q16	将来ワクチンなどの研究がしたいのですが、どのような知識が必要でしょうか	A16	入学後、希望すれば研究室演習等で研究に参加できますので、入学前に特別な知識はありません。

5. その他

Q1	IB入試利用者と話す機会はありますか。	A1	特定の入試合格者との面談の機会は提供していません。
Q2	医学部だと奨学金制度を利用することになると思います。利用にあたり成績は関係ありますか。	A2	本学が取り扱っている奨学金制度としては、日本学生支援機構（JASSO貸与奨学金、給付奨学金）、地方公共団体・民間奨学団体（主に給付奨学金）、筑波大学学生奨学金「つくばスカラシップ」（給付奨学金）、等があります。これらの奨学金制度においては、いずれも学業・人物ともに優秀で、かつ健康であって経済的理由により学資の支弁が困難であると認められたものが対象になっています。また、経済的に授業料の納付が難しい学生は、家計・学力基準がありますが、授業料免除を申請できます。 なお、詳細については、本学ホームページのキャンパスライフの奨学金・修学支援（ http://www.tsukuba.ac.jp/campuslife/scholarship.html ）をご参照ください。
Q3	大学の見学は随時可能なのでしょうか？	A3	現在新型コロナウイルス感染症の影響により、個人の方の自由見学は実施していません。
Q4	留学以外の普段の講義などは国際的ですか。世界に通用する医師になれますか。グローバルな大学の特徴をもう少し教えていただきたいです。	A4	1年生から3年生までは医学英語やTOEFL対策の講義を必修としています。また、医学的な内容については、解剖学など世界共通の内容を学んでいきます。筑波大学医学群医学類は、2015年より国際基準に基づく医学教育分野別認証で適合との認定を受けています。

令和 8 年度
筑波大学オープンキャンパス 医学類Q&A

Q5	「医学の基礎は 高校の生物の応用」 とのことでしたが、高校で 物化選択をしてしまうと（高校の生物を学んでいないと）医学の基礎の授業についていけなくなるということは起こり得ますか？	A5	物理化学選択の人も問題なく学んでいます。心配いりません。
Q6	留年する人は学年ごとに何人ほどいますか。	A6	学年・年度ごとに異なりますが、毎年数名程度います。
Q7	一人前の医師になるまで約10年間のおおよその収入をお聞きしたいです！	A7	卒後の就職先によって異なります。
Q8	臨床実習を行ってから大学院に入る方はどれぐらい、いらっしゃいますか？	A8	研究をメインに行うために卒後大学院に進学する学生も、全員臨床実習を行います。
Q9	特に入学者の都道府県の分布はどこが多いか	A9	関東からの入学者が多いですが、全国から入学者がいます。
Q10	筑波大学の医学類の強みは何か。	A10	医学類低学年でのチュートリアル方式を中心とした授業と高学年での長期の臨床実習がカリキュラムとして挙げられます。その他実習また卒後の研修で高度な先進医療を学ぶことに加え、茨城県内を中心として地域医療についても学べること。また大学としても研究力が高いことが強みです。